

法 学 号 外
平成 29 年 4 月 10 日

各 私 立 高 等 学 校 長 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

高校献血等の協力について
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

【担当】私学振興担当 半田

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

健 第 86 号
平成 29 年 4 月 3 日

法務学事課総括課長 } 様
保健体育課総括課長 }

健康国保課総括課長

高校献血等への協力について

本県の血液事業の推進につきましては、日頃よりご協力を賜り、深く感謝いたします。

さて、本県における平成 27 年度の献血者数は延べ 45, 278 人となっており、献血可能年齢に相当する県民のおよそ 15.8 人に 1 人から尊い献血への協力をいただいているところですが、10 代の献血者数の割合は約 6.0%、その割合は、年々減少しており、20 代、30 代においても同様の傾向となっております。

将来の献血基盤の確保という観点からは、若年層の献血推進が非常に重要であることから、平成 29 年度におきましても、下記のとおり高校献血等の取組を進めて参りますので、県内各高等学校への協力依頼につきまして、特段のご配慮をお願いいたします。

記

1 高校献血対象者

400 ml 全血献血が可能となる年齢、体重の方を対象とします。

- ◆男性：年齢 17 歳以上、体重 50 kg 以上
- ◆女性：年齢 18 歳以上、体重 50 kg 以上

※国においては、400 ml 献血を基本として推進しておりますが、これは、人間一人ひとりの血液は、血液型が同じでも微妙に違っているため、複数の献血者の血液をあわせて一人の患者さんに輸血するほど副作用の発生の可能性が高くなることから、より少ない献血者からの輸血を可能にし、患者さんへの負担の軽減、輸血の安全性の向上を図ることを目的としています。

2 献血種別

400 ml 全血献血を基本としますが、初回献血への不安等から 200 ml 全血献血を希望される場合は、200 ml 全血献血とします。

3 献血バスの配車

400 ml、200 ml の献血種別を問わず、全血献血への協力がある場合は、極力、高校への献血バスの配車を計画しますが、高校献血の協力者数、献血当日の他会場での献血者数の見込などにより、献血バスを配車できないことがございますので、その際は、ご了承



をお願いします。

4 高校生等に対する普及啓発

(1) 高校献血セミナー

献血への理解を深めてもらうための機会として、実際の献血体験は非常に有効であります。献血セミナーも一つの有効な啓発の機会となることから、献血セミナーの開催についてご検討をお願いします。特に、献血バスの配車ができなかった高校については、積極的なご検討をお願いします。

なお、献血セミナーについては、全校生徒、特定の学年を対象とした1コマのものに限らず、例えば講演会等の際の一部時間の活用、保健委員会生徒を対象に開催等柔軟な形での開催でも結構です。別紙のような多数の種類 of 啓発資材を使用し、岩手県血液センターが講師を務めますので、様々な機会を活用しての開催について、岩手県血液センターにご相談願います。

(2) イベント等を活用した普及啓発

高校文化祭などのイベントや高校PTAなど父兄を対象とした講演会の機会を活用した献血の普及啓発でも結構ですので、こちらについても、岩手県血液センターにご相談願います。

5 その他

岩手県血液センターが、高校献血へのご協力のお願いに伺う予定ですので、その際は、お気軽にご相談願います。

担 当：健康国保課薬務担当 藤村

連絡先：019-629-5467

啓発資料

◆DVD

	DVD タイトル名	内容	時間
1	いのちをつなぐ献血②	ナレーションなし。赤十字の活動の様子。	5:21
2	いのちをつなぐ献血①	ナレーション有り。女子高生が白血病で輸血を受けた話。	11:51
3	守りたい	BGMのみ。献血の歴史、全国の献血ルーム、輸血を受けた子供の話。	7:10
4	アンパンマンのエキス	4歳の男の子が小児ガンに罹り、輸血を受けた話。	10:30
5	つながる・つなげる・命の輪	10歳の男の子が脳腫瘍の手術をし、輸血を受けた話。	10:47
6	エール	女子中学生が白血病を克服し、現在医師を目指している話。	11:10
7	みんながくれた卒業式	女子中学生が白血病に罹り輸血を受け、卒業式に出席出来なかったが、後日1人だけの卒業式をしてくれた話。	13:40
8	赤い血がニッポンを動かしている (合計約 26 分)	本編：献血の話	18:40
		体験ボイス：お産時に大量出血し、大量輸血を受けた話。	4:11
		ボランティアについて	3:18
9	ゆきみ	3歳の娘が小児ガンに罹り輸血が必要だがRhマイナスだった。その血液の確保と家族の闘病の話。	27:00
10	八月の二重奏	高校3年時に14歳の妹を白血病で亡くした時の家族の闘病とその後の話。(岩手県の話)	45:00
11	ダブルスカイ	ハンドボール選手が白血病になり、試練を乗り越える話。	48:00

◆説明資料、スライド

1	何故献血が必要か
	血液の需要と供給の状況
	献血の種類と献血基準
	これからの献血の課題
2	貧血や肥満、血圧の問題やその予防について
3	1、2を組み合わせた話